

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	こども施策関係事業費	所管課	子ども総務課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子ども・若者と対話しながら取り組む施策の推進	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
2023年4月に施行された「こども基本法」第11条において、地方自治体はこども施策を策定・実施・評価するにあたり、子どもや若者の意見を反映させるために必要な措置を講じることが義務付けられたことから、本市としても取組を進めていく必要がある。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
子どもと子育て家庭の生活実態調査アンケート調査によれば、本市における生活満足度低位の子どものうち、約7割が自己肯定感を持っていないという実態がある。 子ども・若者の意見表明のための環境づくりや聴取した意見をこども施策に反映させる取組を進めることで、子どもの自己肯定感を高め、もって生活満足度の向上を図る。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
すべてのこども施策において「意見聴取・反映」のプロセスが全庁的な共通認識として定着している。あわせて、声の届きにくい環境にある子どもを含め、多様な当事者の意見を受け止めるための基盤が確立されている。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
子ども・若者の意見聴取・意見反映を仕組化することにより、地域全体で子ども・若者の成長を後押しし、常に子どもとともに社会を築き続けることに寄与する。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子どもや若者が、住んでいる地域に誇りを持って暮らしていると感じますか？	3.14	3.26	3.27
子どもや若者が自分らしくいきいきと生活していると感じますか？			3.27
把握した市民等のニーズとその対応			
「ふじさわ子ども・若者委員会」から、ユースが企画、計画、実行をできる事業についての提案があり、令和8年度から、藤沢市子どもファンド事業の試行を開始した。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
これまでで行政の意思決定に参画する機会が限られていた子ども・若者に対して、多様な意見聴取の手法や機会を提供し、子ども・若者を対等なパートナーとして、その意見を政策に反映させていく本事業の取組は、本市が掲げる「サステナブル藤沢」及び「インクルーシブ藤沢」の定義と整合する。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	飢餓をゼロに
②	質の高い教育をみんなに
③	パートナーシップで目標を達成しよう

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	法人立保育所等施設整備助成事業費	所管課	子ども総務課・保育課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子どもが幸せに育つ生活・幼児教育環境の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
少子化により就学前児童数は減少しているが、共働き世帯の増加により保育所の入所申込児童数は高い状況にあるため、就学前児童数の推移や保育需要の動向を見極めながら、引き続き、需給バランスを保つことができるよう需要量を精査し、定員拡大や保育環境の向上を図るため、認可保育所等の再整備に対する費用を助成する必要がある。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
市内13地区別、年齢別の未就学児童数			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
保育環境が良好に維持され、待機児童が解消されていること。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
安全で良好な保育環境を維持することにより、基本目標4に示す「安心して子育てができる環境の整備」が図られた。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
安心して子育てができる環境づくり	3.17	3.27	3.20
妊娠・出産・子育てに関するサポートが充実していると感じますか？	2.95	3.11	3.05
把握した市民等のニーズとその対応			
就学前児童数の減少が続いている一方で、保育所の利用申込児童数が高い状況の中、需給バランスを考慮しながら、将来供給過多にならないよう、施設整備以外の取組を進めるとともに、保育需要を慎重に見極めながら、保育所整備も必要に応じて検討していく。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
子育て世代が住みやすい、住み続けたい、子育てしやすいまちをめざすとともに、すべての子どもが取り残されることなく健やかに成長することができる保育環境を維持するための事業である。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	働きがいも経済成長も
③	住み続けられるまちづくりを

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	市立保育所運営費	所管課	保育課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子どもが幸せに育つ生活・幼児教育環境の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
各自治体においても、保護者の就労支援とともに子どもの健康と安全を守ることを目的とした病児保育事業を実施している。ただし、施設数としては限りがある状況もあることから、一部の自治体間では相互利用・広域利用に係る協定を締結している。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
保護者の就労支援のため、通常保育では預かることが難しい病中の児童の保育を行う病児保育を実施した。 【病児保育利用者】 公立保育園:藤が岡保育園 R5年度432人 R6年度355人 R7年度335人 市内全体:R5年度817人 R6年度785人 R7年度 995人			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
児童が体調不良であっても、安心して預けることができ、保護者の就労を支えることができる環境			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
病児保育事業を実施することで、保護者が安心して子どもを預ける環境を整備し、子どもたちも安心・安全に生活できることに繋がり、基本目標4に示す「子どもの笑顔があふれるまちをつくる」に寄与した。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
安心して子育てできる環境づくりについて R6以前:子どもを安心して	3.17	3.27	3.20
妊娠・出産・子育てに関するサポートが充実していると感じますか？ R6以前:保育など子育て	2.95	3.11	3.05
把握した市民等のニーズとその対応			
病気等の回復期に至らない児童を対象に藤が岡保育園(市内全体では医療機関併設型1施設、認可保育施設2施設)において病児保育事業を実施した。 また、利用登録・予約手続きは、特別保育予約システムを導入しており、ペーパーレス化するとともに、利用者の利便性向上を図った。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
保護者が安心して就労できる環境を整備することにより、サステナブルなまちづくりの一助となる。また、病気の有無にかかわらず、一人ひとりに合った支援や保育環境を整備することでインクルーシブな保育を実現できる。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	住み続けられるまちづくりを
②	すべての人に健康と福祉を
③	

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	法人立保育所運営費等助成事業費	所管課	保育課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子どもが幸せに育つ生活・幼児教育環境の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
世帯構成や就労形態の多様化とともに、共働き世帯の増加により、保育サービスに対する需要は増加を続けている。一方で、特に都市部における保育士不足問題が喫緊の課題となっており、保育士の処遇改善を含め、適切な保育環境の維持・向上ができる体制の確保が急務となっている。また、出生数が減少している中、定員割れとなる施設も生じる可能性があることから、そのような場合の運営支援の在り方を検討する必要がある。児童が安心かつ安全な保育を受けるとともに、法人立認可保育所が継続的かつ安定した運営ができるよう支援を行う。また、病児保育事業のニーズを踏まえた在り方を検討する必要がある。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
各施設における保育士数、病児保育事業利用登録者数、病児保育事業利用実績			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
保育士不足の解消及び法人立認可保育所の継続的かつ安定した運営			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
法人立認可保育所の継続的かつ安定した運営を支援することにより、基本目標4に示す「すべての子どもの今と未来の最善の利益を第一に考え、安心して子育てができる環境」づくりに寄与した。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
妊娠・出産・子育てに関するサポートが充実していると感じますか？	2.95	3.11	3.05
安心して子育てができる環境づくり	3.17	3.27	3.20
把握した市民等のニーズとその対応			
性被害防止対策事業補助金の新設を行った。新たに手ぶらで保育スタートアップ事業の新設を予定しており、引き続き施設へ必要な補助事業の検討を行う。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
人材確保策を含め、法人立認可保育所を支援し、多様な保育ニーズに対応するため	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	働きがいも経済成長も
③	

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	藤沢型認定保育施設補助事業費	所管課	保育課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子どもが幸せに育つ生活・幼児教育環境の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
藤沢型認定保育施設の安定的な運営を支援し、待機児童の発生や多様化する保育ニーズに対応するため、施設の設置者に対し運営費の補助を行う。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
待機児童数と入所保留児童数			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
藤沢市の待機児童が0人となり、保護者の保育へのニーズを満たす状態となっていること。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
藤沢型認定保育施設の継続的かつ安定した運営を支援することにより、基本目標4に示す「すべての子どもの今と未来の最善の利益を第一に考え、安心して子育てができる環境」づくりに寄与した。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
妊娠・出産・子育てに関するサポートが充実していると感じますか？	2.95	3.11	3.05
把握した市民等のニーズとその対応			
藤沢型認定保育施設における運営費の補助を含めた要件等について、施設より、随時相談が入っている。様々な角度から、安定運営に向けた検討・制度改善を行っていく。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
保育の在り方や方向性についても多様化が進んでおり、それに対して一定の役割を果たしている藤沢型認定保育施設の安定運営を図るため、藤沢型認定保育施設補助事業が有用だと考える。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	住み続けられるまちづくりを
②	
③	

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	医療的ケア児保育事業費	所管課	保育課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子どもが幸せに育つ生活・幼児教育環境の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
医療技術の進歩を背景に、NICU(新生児集中治療室)退院後も、日常生活の上で医療的ケアを必要とする子どもの数が年々増加している。また、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が施行され、働く保護者も増加しており、受入体制の拡充が課題となっている。医療的ケア児を持つ保護者の子育てと仕事の両立を支援する必要がある、受入れを推進することでインクルーシブな保育環境を推進する。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
医療的ケア児数、医療的ケア児に対応可能な通所施設の預かり時間、医療的ケア児に対応可能な訪問看護ステーション数			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
障がい等の有無に関わらず保育を必要とする児童が等しく、認可保育所を利用できるようになる。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
医療的ケア児の保育施設での受入を進めることにより、基本目標4に示す「すべての子どもの今と未来の最善の利益を第一に考え、安心して子育てができる環境」づくりに寄与した。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
安心して子育てができる環境づくり	3.17	3.27	3.20
保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い、暮らしやすいこと	3.58	3.66	3.54
把握した市民等のニーズとその対応			
医療的ケアのほか、重度心身障がいの児童の受入について要望があったため、保育施設での安全な受入に向け検討を進めている。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
本事業の実施により、これまで復職や就労を断念していた保護者が、仕事と育児の両立ができるようになる。また、幼少期から医療的ケア児と共に過ごすインクルーシブな保育環境は、子どもたちが多様性を自然に受け入れ、他者を思いやる心を育む機会となる。こうした取組は、だれひとり取り残さない、地域共生社会の実現につながるものである。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	働きがいも経済成長も
③	住み続けられるまちづくりを

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	幼稚園人材確保支援事業費	所管課	保育課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子どもが幸せに育つ生活・幼児教育環境の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
幼稚園の人材確保策に比べ、保育所における人材確保策は国庫補助によりメニューが充実していることもあり、保育所へ就労する傾向がある。本市が独自に幼稚園教諭等の人材確保、定着及び離職防止に向けた各種補助事業等を行うことにより、市内幼稚園及び認定こども園の人材不足を解消し、幼児教育の充実を図る。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
市内幼稚園への令和7年度アンケート調査結果より、1園あたり0.6人の人材不足が生じている。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
幼稚園等での人材確保が図られることにより、幼児教育が充実する。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
幼稚園教諭等の人材確保、定着及び離職防止に向けた各種補助事業等を行うことにより、市内幼稚園及び認定こども園の人材不足を解消し、幼児教育の充実を図ることができ、基本目標4に示す「子どもの笑顔があふれるまちをつくる」の実現に寄与できる。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
安心して子育てができる環境づくり	3.17	3.27	3.20
把握した市民等のニーズとその対応			
幼稚園等からは、事業をもっと周知して欲しい、対象者の要件を拡充して欲しいとの意見があった。また、市議会においては事業の拡充に関する意見が出された。これに対しては、令和5年度から養成校等へ事業周知チラシ等を作成・配布し、事業の周知を図るとともに、事業対象者の要件を拡充するなどの対応を図っている。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 □インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
質の高い幼児教育の維持・継続に向けて、人材確保への支援を行う。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	質の高い教育をみんなに
②	
③	

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	少年の森整備事業費	所管課	青少年課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子ども・若者と対話しながら取り組む施策の推進	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
少年の森は開設から45年以上が経過し、施設の老朽化が顕著となっており、トイレの清潔さやアスレチック等の安全性、駐車場の不足といったニーズへの対応が急務である一方、人口減少や税収減の時代において、公費の投入のみで施設を維持させる従来の手法では持続可能性に課題がある。そのため、市民・事業者・生産者といった地域プレイヤーが運営や維持管理へ主体的に参画できる仕組みへと転換し、持続可能かつ北部地域の魅力を高めるハブとして機能させるため、本事業を推進していくものである。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
開設から45年経過しており、施設の老朽化が著しく、建物・設備等の更新時期を迎えている上、アスレチック等の安全性確保や施設快適性の確保が求められていることから、再整備を実施する。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
市民をはじめ、市内事業者・生産者といった地域プレイヤー等と連携し、それぞれが役割や立場を超えて、誰もが教える・教わるのが可能な関係を育むとともに、少年の森が地域資源(ひと・もの・こと)を循環させるハブとなり、北部地域の経済と魅力の向上に寄与する施設となる。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
少年の森を再整備することで、基本目標4に示す「子どもの笑顔があふれるまちをつくる」に寄与する。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
安心して子育てができる環境づくり	3.17	3.27	3.20
子どもや若者が、住んでいる地域に誇りを持って暮らしていると感じますか？	3.14	3.26	3.27
把握した市民等のニーズとその対応			
策定した基本計画について地元団体と意見交換を行い、再整備後の施設の在り方や方向性について共有を図った。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
地域住民や利用者、地元生産者等の声を公民連携によって汲み取り、再整備基本構想を策定した。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	質の高い教育をみんなに
②	住み続けられるまちづくりを
③	パートナーシップで目標を達成しよう

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	放課後児童クラブ整備事業費	所管課	青少年課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子ども・若者と対話しながら取り組む施策の推進	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
現在も社会情勢の変化により、放課後に保護者が不在となる家庭が増加し、放課後児童クラブの需要が増加している。一方で、全国的な少子化が急速に進行しており、本市においても今後の児童数が減少することも念頭に、放課後児童クラブを整備していく必要がある。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
放課後児童クラブの利用申込者数(4月1日時点)が令和5年度4,409人、令和6年度4,708人、令和7年度4,868人と増加傾向にある。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
藤沢市子ども・若者共育計画に基づき放課後児童クラブの整備を行い、待機児童を解消し、保護者の就労支援、子育て支援に繋げることができている。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、放課後の居場所を整備することで、基本目標4に示す「すべての子どもの今と未来の最善の利益を第一に考え、安心して子育てができる環境や子どもたちの「生きる力」が育まれる教育環境を整備するとともに、地域全体で子ども・若者の成長を後押しし、常に子どもと共に社会を築き続ける都市」に貢献した。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子どもの居場所が充実していると感じますか？	2.95	3.11	2.96
把握した市民等のニーズとその対応			
放課後の児童の居場所として放課後児童クラブのニーズが高まっており、待機児童も発生している状況である。保護者の就労支援、子育て支援のため、藤沢市子ども・若者共育計画に基づき、放課後児童クラブの整備を進める必要がある。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
放課後の児童の居場所を整備することで、保護者の就労支援や子育て支援につながるとともに、未来を担う子どもたちの健全な育成につながる。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	ジェンダー平等を実現しよう
②	働きがいも経済成長も
③	すべての人に健康と福祉を

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	放課後子ども教室整備事業費	所管課	青少年課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子ども・若者と対話しながら取り組む施策の推進	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
社会情勢の変化により、放課後に保護者が不在となる家庭が増加している。一方で、全国的な少子化が急速に進行しており、本市においても今後の児童数が減少することも念頭に、放課後子ども教室を整備していく必要がある。今後は藤沢市子ども・若者共育計画に基づき整備を進める。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
令和7年度の放課後子ども教室の実施状況が、亀井野172日開室、延べ利用人数6,668人、小糸189日開室、延べ利用人数1,909人、富士見台55日開室、延べ利用人数1,469人、御所見75日開室、延べ利用人数2,987人、善行118日開室、延べ利用人数2,973人、新林49日開室、延べ利用人数2,036人、天神97日開室、延べ利用人数1,440人、鶴南12日開室、延べ利用人数203人、長後12日開室、延べ利用人数273人と、多くの児童に利用を継続してもらっている。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
藤沢市子ども・若者共育計画に基づき放課後子ども教室の整備を行い、保護者の就労支援、子育て支援につなげることができている。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
藤沢市子ども・若者共育計画に基づき放課後子ども教室の整備を行うなかで、基本目標4に示す「すべての子どもの今と未来の最善の利益を第一に考え、安心して子育てができる環境や子どもたちの「生きる力」が育まれる教育環境を整備するとともに、地域全体で子ども・若者の成長を後押しし、常に子どもと共に社会を築き続ける都市」に貢献した。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子どもの居場所が充実していると感じますか？	2.95	3.11	2.96
把握した市民等のニーズとその対応			
放課後の児童の居場所に対するニーズが高まっており、放課後児童クラブでは待機児童も発生している状況である。小学校の敷地内で安心安全に子どもの居場所として過ごせる放課後子ども教室は、保護者の就労支援、子育て支援のためになることから、藤沢市子ども・若者計画に基づき、放課後子ども教室の整備を進める必要がある。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
放課後の児童の居場所を整備することで、保護者の就労支援や子育て支援につながるとともに、未来を担う子どもたちの健全な育成につながる。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	ジェンダー平等を実現しよう
②	働きがいも経済成長も
③	すべての人に健康と福祉を

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	障がい児通所給付費等事業費	所管課	こども家庭センター
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子どもが健やかに成長できる切れ目のない支援の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
障がい児が地域や住み慣れた場所でその人らしく暮らせるよう、児童発達支援センターを中核とした機能強化による障がい児地域支援体制の充実について国の方針が示されている。本市としても地域における障がい児支援体制の強化及び、保育所等での発達支援の充実と障がい理解の推進を図る必要がある。障がい児支援の質が向上することで、子どもの健やかな成長に向けた支援を充実させる。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
児童発達支援事業所連絡会3回、保育所等訪問支援情報交換会3回、保育所等訪問支援事業所向け勉強会1回、支援者向け研修会2回			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
障がい児が必要なサービス等を受けることができるよう、社会資源が充実し、障がいの有無にかかわらず、子どもが自分らしく生きることができる地域共生社会をつくる。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
障がい特性に応じた支援を行うことで、基本目標4に示す「すべての子どもの今と未来の最善の利益を第一に考え、安心して子育てができる」環境整備が図られた。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
安心して子育てができる環境づくりについて	3.17	3.27	3.20
把握した市民等のニーズとその対応			
・発達に課題を抱える子どもの地域資源や福祉サービスについて相談する先がないという声が上がっていることから、本人とその家族の支援や年齢等におけるサービスの移行支援等、障がい児の相談支援体制の構築に向けた会議体を設置し、今後の方向性について検討を行う。 ・強度行動障がいについての対応が求められている。児童期の適切な関わりが、将来の強度行動障がいの予防につながることから、支援者に対して研修等を通じて環境要因や本人の意思を尊重する支援の重要性について理解を促進する。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	☐ サステナブル藤沢 ☒ インクルーシブ藤沢 ☐ スマート藤沢
障がい特性に応じた支援を行っており、すべての子どもを育むことができる地域社会づくりを推進しているため。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	人や国の不平等をなくそう
③	パートナーシップで目標を達成しよう

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	乳幼児健診事業費	所管課	親子すこやか課
まちづくりテーマ		重点施策名	
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		子どもが健やかに成長できる切れ目のない支援の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
現在、3歳6カ月児健康診査以降、保育園や幼稚園等の所属のない児については、就学までに就学時健康診査以外の健診や相談の機会がない場合があり、所属がある児についても、学校生活に備える就学時相談への連携や、就学に備えた社会性や生活習慣に必要な行動につながる個々の特徴に合わせた支援が必要とされる。言葉の理解力や社会性が高まり、発達の特徴や課題が認知される5歳児において、子どもの特性を把握し、その特性に合わせた適切な支援を行うため、医師や関係機関等と検討し、安心して子どもを育てるための環境づくりを進める。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
母子保健法に基づく法定の健康診査等と合わせた、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制の整備(3歳6カ月児健康診査から就学までの支援体制の整備)			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
安定的な5歳児健康診査の実施運営及び関係機関との連携体制の構築を図り、子どもの特性に合わせた健やかな成長と発育を支援する。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
出生後からの切れ目のない健康診査を実施することで、基本目標4に示す「関係機関への連携、相談支援体制の充実・強化」につなげ、「安心して子育てができる環境」に寄与している。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちに子どもの笑顔があふれていること	3.53	3.64	3.60
妊娠・出産・子育てに関するサポートが充実していると感じますか？	2.95	3.11	3.05
把握した市民等のニーズとその対応			
5歳児支援等を行う関係機関の職員等を委員とした藤沢市母子保健推進協議会乳幼児健康診査検討部会において、5歳児健康診査とその後のフォローを含む実施体制の検討を進めた。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
安心して子育てできる環境づくりが、少子化抑止や、子育てしやすいまちづくりに寄与する。また、格差なく利用できる支援体制の充実により、子育て支援に対する関心が高まるとともに、孤立せず住みやすいまちづくりに寄与する。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	ジェンダー平等を実現しよう
③	パートナーシップで目標を達成しよう

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	不妊・不育症治療助成事業費	所管課	親子すこやか課
まちづくりテーマ	重点施策名		
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	子どもが健やかに成長できる切れ目のない支援の充実		

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
日本の合計特殊出生率は低下が続き、少子化が依然として進行している。その背景として、若い世代の妊娠・出産・育児に対して、自らのキャリア形成や趣味などとバランスをとること、子育てや教育にかかる費用と経済的負担など、将来に対する不安が根本にあると考えられる。本事業において、不妊治療及び不育症治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減し、子どもを望む方が安心して治療を受け、出産や子育てに前向きに取り組める環境をつくる。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
出生数、神奈川県不妊治療アンケート(令和5年度)不妊治療費が負担と感じている人の割合 95.6%			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
少子化対策の一環として、また、子どもを持ちたいと願う夫婦の経済的負担の軽減に寄与している。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
不妊治療及び不育症の治療を受けている夫婦の経済的負担が軽減され、出産や子育てに前向きに取り組める環境整備が図られ、基本目標4に示す「安心して子育てができる環境」に寄与している。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちに子どもの笑顔があふれていること	3.53	3.64	3.60
妊娠・出産・子育てに関するサポートが充実していると感じますか？	2.95	3.11	3.05
把握した市民等のニーズとその対応			
神奈川県不妊治療アンケートによりニーズを把握し、経済的負担の軽減を図ることで安心して治療を受け、出産や子育てに前向きに取り組めるよう事業を実施した。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
安心して子育てできる環境づくりが、少子化抑止や、子育てしやすいまちづくりに寄与する。また、格差なく利用できる支援体制の充実により、子育て支援に対する関心が高まるとともに孤立せず住みやすいまちづくりにも寄与する。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	ジェンダー平等を実現しよう
③	パートナーシップで目標を達成しよう

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	妊娠・出産包括支援事業費	所管課	親子すこやか課
まちづくりテーマ	重点施策名		
3.笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	子どもが健やかに成長できる切れ目のない支援の充実		

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
近年、核家族化や晩婚化等が進み、妊産婦の産前・産後の心身が不安定な時期に、家族等の支援が受けにくく、不安や孤立感を抱きやすい状況があり、育児不安やうつ状態の妊産婦に対して、虐待予防、孤立防止など地域生活の支援を行うことが重要であるとされている。2023年6月に閣議決定された「こども未来戦略方針」の基本理念には「全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援する」と掲げられており、同方針の加速化プランには、伴走型相談支援と産前・産後ケアの拡大が急務であるとされている。妊娠・出産・子育て期の支援の充実のため、妊婦のための支援給付及び妊婦等包括相談支援事業をはじめ、妊産婦健康診査及び新生児聴覚検査費用助成を行うとともに、産後ケア事業を行うことにより、切れ目ない支援の充実を図り、孤立化を予防し、安心して妊娠・出産・子育て期を過ごすことができる環境をつくる。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
出生数、産後ケア事業等における利用者アンケート結果、藤沢市子ども・子育て支援に関する利用希望把握調査(藤沢市子ども・若者共育計画におけるニーズ調査)結果			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
妊娠・出産を通じた様々な不安を軽減し、安心して子育てができる環境が整備されることで、妊娠期から子育て期にわたる子育て世代の孤立を防ぎ、子育てしやすいまちとなることに寄与している。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
妊娠期からの切れ目のない子育て支援を行い、妊娠・出産・子育て期に必要な経済的支援や子育て世帯へのサポート充実が、基本目標4に示す「安心して子育てのできる環境」に寄与している。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちに子どもの笑顔があふれていること	3.53	3.64	3.60
妊娠・出産・子育てに関するサポートが充実していると感じますか?	2.95	3.11	3.05
把握した市民等のニーズとその対応			
各アンケートでは、育児(授乳、子の泣き対応、スキンケア、精神不安定など)、体調不良、家事負担、睡眠不足などの不安があるという回答が多かった。育児不安等を解消する支援として、産後ケア事業の充実を図っているが、支援ニーズに合った事業展開の研究が必要である。議会等から産後ケア事業の委託料や利用者自己負担に関する意見をいただいており、令和7年度において、一部見直しを行った。また、支援のひとつとして産後ヘルパー事業を令和8年度8月より開始予定である。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 ■スマート藤沢
安心して子育てできる環境づくりが、少子化抑止や、子育てしやすいまちづくりに寄与する。また、格差なく利用できる支援体制の充実により、子育て支援に対する関心が高まるとともに、孤立せず住みやすいまちづくりにも寄与する。そのほか、市民ポータルサイト「ふじまど」を活用した申請手続き等により、デジタル市役所の推進に寄与している。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	ジェンダー平等を実現しよう
③	パートナーシップで目標を達成しよう